

**中国地方整備局総合評価審査委員会 広島県第一部会 (第6回)**  
**開催結果の概要**

1. 日時：平成28年9月28日(水) 14:00～16:00

2. 場所：太田川河川事務所 3階会議室

3. 出席者

部会長：中山 隆弘【広島工業大学 名誉教授】

委員：河合 研至【広島大学大学院工学研究院 教授】

委員：山田 昌徳【広島商工会議所 産業・地域振興部長】

発注者：三次河川国道事務所、太田川河川事務所、土師ダム管理所、弥栄ダム管理所、  
温井ダム管理所、中国技術事務所

4. 議事次第：

- ・ 審査対象案件(工事)の全体説明
- ・ 審査対象案件(工事)の個別審査
- ・ 審査対象案件(業務)の全体説明
- ・ 審査対象案件(業務)の個別審査
- ・ 落札者決定時の意見聴取に関する報告

5. 審査概要： ※対象案件は別添、総合評価審査部会資料(抜粋)のとおり

(1) 審査対象案件(工事)の全体説明

審査対象工事件数・・・ 一般競争入札(総合評価方式)

全 8件

< 審査工事件数の内訳 >

1) 評価項目・加算点の審査(公告前審査)・・・

7件

総合評価方式【施工能力評価型】内訳

工種	審査件数
一般土木	7件
計	7件

2) 技術提案の審査(入札前審査)・・・

1件

総合評価方式【施工能力評価型】内訳

工種	審査件数
受変電設備	1件
計	1 1件

(2) 審査対象案件(業務)の全体説明

審査対象業務件数・・・

全 10件

< 審査業務事件数の内訳 >

1) 評価項目・加算点の審査(公告・公示前審査)・・・

4件

発注契約方式		業務種別	審査件数
簡易公募型 プロポーザル方式	総合評価型	土木関係建設 コンサルタント業務	1件
標準型 プロポーザル方式	総合評価型	土木関係建設 コンサルタント業務	1件
簡易公募型競争入札 ・総合評価落札方式	簡易型	土木関係建設 コンサルタント業務	1件
		測量業務	1件
計			4件

1) 評価項目・加算点の審査(特定・入札前通知前審査)・・・

6件

発注契約方式		業務種別	審査件数
簡易公募型 プロポーザル方式	総合評価型	土木関係建設 コンサルタント業務	3件
簡易公募型競争入札 ・総合評価落札方式	標準型	土木関係建設 コンサルタント業務	1件
簡易公募型競争入札 ・総合評価落札方式	簡易型	土木関係建設 コンサルタント業務	2件
計			6件

(3) 落札者決定時の意見聴取に関する報告

報告工事件数・・・ 一般競争入札(総合評価方式)

全 25件

(H28.8.1～H28.9.14開札分)

・ 施工能力評価型

.....

22件

・ チャレンジ型

.....

3件

報告業務件数・・・ (総合評価落札方式)

全 9件

(H28.8.9～H28.9.7開札分)

# 総合評価審査委員会資料（抜粋）

平成28年度 広島県第一部会（第6回）

## 審査対象工事一覧表

平成28年9月28日





◆入札前の審査【施工能力評価型】対象工事一覧

※下表において、◎は重要審査工事を示す

総合評価審査委員会重点審査工事	No.	事務所名	工事種別	ランク	区分	工事名	工事概要	工事の特性 (評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容 やサイト特性をわかりやすく記載すること)	評価型区分	難易度	加 点								合計	技術提案、施工計画 【求めた技術提案】	技術資料提出者数	入札参加資格者数 (欠格者を除く数)	競争参加資格不可社数		評価点			備考			
											① 施工体制	② 企業の施工実績	③ 登録基幹技能者又は建設マスター	④ 企業の技術力(有効な新技術の活用)	⑤ 施工能力(情報化施工の活用)	⑥ 地元企業活用促進型	⑦ 地域精進度・地域貢献度	⑧ 配置予定技術者の能力					競争参加資格不可社数	施工計画不可社数	平均点	最高点	最低点				
																													平均点	最高点	最低点
◎	1	温井ダム管理所	受変電設備	—	河川	温井ダム無停電電源設備設置工事	無停電電源設備 30kVA : 1台	温井ダム管理所に設置された無停電電源設備の更新を行うものであり、既設設備を運用しながらの更新作業を行う工事である。	Ⅱ型	Ⅱ ダム 周辺 その他	30	19	1				20	70.0	—												

平成28年度 広島県第一部会（第6回）

## 審査対象業務一覧表

平成28年9月28日







◇【公募型／簡易公募型プロポーザル方式】参加表明書／技術提案書の評価一覧表（特定前審査）

NO	事務所名	業務名	業務種別	業務概要	公示時期 (月)	評価テーマ内容		参加表明書の評価 (公募型・簡易公募型の場合)			技術提案書の評価					備考 (ページ・番号)
								参加表明者数	要件を満たしていない者等	事由	技術提案書の提出者数	技術提案提出者数	評価ウェイト			
						提出された技術提案書の評価							満点	平均	最高	
						評価テーマ①	評価テーマ②									

◇簡易公募型プロポーザル方式

※中段：最高・最低得点者の技術提案得点を示す。  
※下段：技術提案の最高・最低得点を示す。

1	太田川河川事務所	広島西部山系土石流・流木対策施設配置計画検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	管内における砂防堰堤について、近年の土石流災害実績等を踏まえ、流木捕捉機能に関し、より確実かつ効率的に流木を捕捉するための施設設計を行うことを目的として配置計画案を検討するものである。	7	広島西部山系における流木対策の強化方策を検討する上での留意点について	—										重点審査案件
2	太田川河川事務所	高瀬堰運用管理検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	高瀬堰に関する運用管理(流木対応、堰コン制御定数設定)の検討を行う。	8	出水時に流木によるゲート全閉不能が発生した時の対応策を検討する際の着目点について	—										
3	土師ダム管理所	土師ダム流入量予測システム構築業務	土木関係建設コンサルタント業務	本業務は土師ダム流域の長時間予測雨量に関連したダム流入量予測システムの構築を行うものである。	7	長時間雨量予測データを用いた流入量予測を行う際の留意点について	—										重点審査案件
—	中国技術事務所	ダム湖の塵芥回収方策事例収集整理業務	土木関係建設コンサルタント業務	本業務は、ダム湖網場に集まった塵芥の効率的な回収方策を収集・評価すると共に、中国地整管内直轄管理11ダムの維持管理コストの縮減に役立てることを目的に、現地条件に応じたダム湖の塵芥拡散防止・回収方策事例集を作成するものである。	9	塵芥拡散防止・回収技術の比較評価における留意点について	塵芥拡散防止・回収技術の事例集の作成における留意点について										取り止め

◇【公募型／簡易公募型競争入札(総合評価落札)方式】参加表明書／技術提案書の評価一覧表 (入札前審査)

NO	事務所名	業務名	業務種別	業務概要	公示時期(月)	評価テーマ		評価割合	参加表明書の評価 (公募型・簡易公募型の場合)			技術提案書の評価					備考 (ページ・番号)
						評価テーマ①	評価テーマ②		参加表明者数	要件を満たしていない者等	事由	技術提案書の提出要請者数	技術提案提出者数	評価ウェイト			
														満点	平均	最高	

◇簡易公募型競争入札(総合評価落札)方式 標準型

※中段:最高・最低得点者の技術提案得点を示す。  
※下段:技術提案の最高・最低得点を示す。

1	太田川河川事務所	高瀬堰主ゲート開閉装置外更新検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	高瀬堰主ゲート開閉装置の更新の検討を行うものである。	7	高瀬堰主ゲート開閉装置の更新を検討する際の着目点について	—	1:2										
---	----------	--------------------	-----------------	----------------------------	---	------------------------------	---	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇【公募型／簡易公募型競争入札(総合評価落札)方式】 参加表明書／技術提案書の評価一覧表 (入札前審査)

NO	事務所名	業務名	業務種別	業務概要 (履行場所、目的、内容)	公示時期 (月)	評価テーマ		評価割合	参加表明書の評価 (公募型・簡易公募型の場合)			技術提案書の評価					備考 (ページ・番号)
						評価テーマ①	評価テーマ②		参加表明者数	要件を満たしていない者等	事由	技術提案書の提出者数	技術提案提出者数	評価ウェイト			
														満点	平均	最高	

◇簡易公募型競争入札(総合評価落札)方式 簡易型

※中段: 最高・最低得点者の技術提案得点を示す。  
 ※下段: 技術提案の最高・最低得点を示す。

1	太田川河川事務所	太田川水系大規模水害リスク検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	本業務は、太田川水系において大規模水害発生時の浸水解析等を実施し、浸水想定区域図等の作成を行うものである。	8	-	-	1:1									
2	中国技術事務所	中国管内路面性状調査業務	土木関係建設コンサルタント業務	本業務は、適切な道路管理を行うため路面性状測定車を走行させて路面の性状を調査し、その実態を把握すると共に、合理的な道路管理と舗装の維持修繕計画の立案を支援する業務である。	8	-	-	1:1									